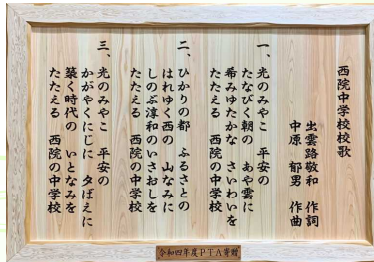


西院中だより

西院中学校 | 令和6年(2024年)3月19日発行 | No. 14

行った場所で、自分らしい花を咲かせましょう！

令和5年度が終わります。昨日は、一足先に3年生が卒業していきました。1・2年生には今年度の自分をしっかりと振り返り、新年度にむけての準備と目標や計画を立てる春休みにしてほしいです。以下に今年の卒業式の式辞を載せておきます。なぜ載せるのか。みなさんには、中学生のときから“人のために”、“自分らしく”、そして“志を確かに貫く生き方”を学校生活で目指してほしいのです。きっと、何も語らずとも、先輩のオーラとなって、新入生は感じるはずです。そして、来年の卒業式で、私の新3年生に贈る言葉が決まってくるのです。



『式辞』より

116名の卒業生の皆さん『卒業、おめでとう。』
まずは、今日の日を迎えることができ保護者の皆さん、育ててくださった皆さん、そして、西院のまちの皆さんに、15年間見守っていただいたことに、そして9年間の義務教育を支えていただいたことに、感謝の気持ちを表してほしいと思います。特に、4月からの新しい生活をスタートさせるための進路実現において、しんどくなっている皆さんに寄り添い続け、ときには言い合いになりながらも支えきって下さった保護者の皆さんには、今しかいえない素直な気持ち、ありがたいの思いを伝えてほしいと思います。



さて、みなさんの西院中学校での3年間はどうか。小学校の時から始まったコロナ禍のせいで、中学校でも2年間は、本当にしんどい中で、頑張るしかない、そんな時間であったと思います。しかし、3年生になった今年度は



違いました。5月にコロナが5類になり、そこからは、その恐怖を振り払うかのような一年間であったのではないかと思います。みんなで思いっきりひつついて、向かい合って、盛り上がる
ことができた修学旅行での学年レク。私も嬉しすぎて少し調子に乗りすぎたかもしれません。そして、学校にもどり、平和学習の成果を、1・2年生の教室に出かけて行き、対面でしっかりと発信してくれました。



全校生徒が一堂に会しての合唱コンクール、みなさんは初めての経験でしたね。保護者や地域の方々に見守ってもらいながら行えた、フルスペックでの体育大会。11月には、地域の園児たちを招いて実施することができた西院ホスピタリティー園児たちに負けないうくらい3年生のみなさんも楽しんでいたように見



校是 志確かに“今よい生きる！”

～すべての子どもたちに培いたい力～

1. 自らの、社会の未来を切り拓く創造力
2. たくましく、よいよく生き抜くための学力
3. “人”を“いのち”を大切におもう心



えました。これは、以前保育実習として行っていた西院のまちの園児たちとのふれあいの場が、全く新しい形で復活した取組だったのです。それを皆さんがスタートさせてくれました。

ただ、私が皆さんのこと一番印象に残っているのは、実は今年



度ではないのです。それは、昨年度の3年生を送る会なんです。皆さんは2年生で送る側でした。昨年度の卒業生は中学校生活の全てがコロナ禍の中で過ごしきった学年です。その3年生をみなさんは取り囲んで「ジャンボリミッキー」の歌と踊りで祝福しました。皆さんに促されて恥ずかしそうに踊り、歌を口ずさむ3年生の表情には、3年間頑張ってきてよかったという気持ちが表れていました。私自身、そんな3年生の姿を見て、2年生のみなさんに本当にありがとうと言いながら感謝していたのをはっきりと覚えています。

みなさんは、人の心をいたわることができます。人の気持ちを動かし、元気にすることもできるのです。そんな力と優しさを持った自分を、しっかりと信じてほしいと思います。



今日、卒業生の皆さんの、新たな門出に、はなむけの言葉を贈りたいのですが、少し皆さんにはかわいすぎるかもしれません。昨年、創立100周年が話題になっていた

ウォルト・ディズニーの言葉を二つ紹介したいと思います。

一つ目は、『与えることは最高の喜びだ。他人に喜びを運ぶ人は、自分自身の喜びと満足を得る。』という言葉です。皆さんは学校だけでなく、西院のまちからたくさんの方のことを学ばせてもらってきました。9年間にわたって、地域の方々に登下校を見守ってもらい、読み聞かせで優しい気持ちにさせてもらい、地域の方に助けてもらいながら学習活動を行ってきました。逆に皆さんが地域の行事や取組にボランティアとして参加して、中学生やるな！、ありがとう！と感じてもらったこともあります。そして、昨年の3年生をとっても素敵に送り出してくれました。そうです。人を思いやり、人のために行動することができる自分を信じてください。皆さんには是非とも他人や社会に貢献できる、そしてそのことを自分の喜びとして感じる人間になってほしいと思います。



もう一つは、あまりにも有名な言葉ですが、『夢を求め続ける勇氣さえあれば、すべての夢は必ず実現できる。いつだって忘れないで欲しい、すべて一匹のネズミから始まったということ』という言葉です。夢は叶う”と言っているのですが

もう一つは、あまりにも有名な言葉ですが、『夢を求め続ける勇氣さえあれば、すべての夢は必ず実現できる。いつだって忘れないで欲しい、すべて一匹のネズミから始まったということ』という言葉です。

夢は叶う”と言っているのですが



心の故郷 西院中

第78期生徒会スローガン
ジグソー
パズル



一匹のネズミから夢の国の実現まで、その間にはどれぐらいたくさんさんの失敗や挫折、苦悩があったと思いますか。それを乗り越えてやり続ける“勇気”と言っていますが、その勇気はどうして持つことができたのでしょうか。勇気を支えたのは、自分を信じることで、そして夢を実現させたい、させなければならない理由がウォルトディズニー自身の中にしっかりとあったということです。この思いの強さ、これを信念と呼びたいのですが、この信念が勇気を生み出していたのだと思います。



私は、皆さんが西院中学校に入学してきたとき、小学校でたくさん持たせてもらった夢を、中学校では志にまで高めてくださいと言いました。そして、みなさんは、自分の志を探しながら3年間学習を続けてきました。

志。そう、やる理由、やりとげなければならない理由が自分の中ではっきりとしている夢のことです。私からの、心の中に大切にしまっておいて欲しい卒業記念品、それが志という言葉です。西院中学校で3年間学びきった証として、この言葉、持ち続けてほしい、そしてことあるごとにこの言葉を思い出して、そのときの自分に問いかけ続けてほしいと思います。



結びになりますが、卒業生の皆さん。この西院のまちの人間、そのまちにある西院中学校の卒業生であることに誇りをもち、4月から、それぞれの新しい世界で、しっかりと最初の一步を踏み出してください。志をしっかりと持って、逞しく、生き生きと頑張ってる皆さんの姿を期待しています。

本当に最後です。君たちが、これから行く場所、置かれた場所で自分らしい花をしっかりと咲かせることで、笑顔で幸せに生きることができ周りの人をも幸せにすることによって、一人一人が行った場所、置かれた場所は間違いではなかった、素敵な場所であったと証明しながら歩いていくことを願って、式辞とします。

令和6年3月15日
京都市立西院中学校
校長 窪田 隆浩



離任式

令和6年3月28日（木）11時～

離任の教職員及び離任式の有無については、3月25日（月）14時頃より、西院中学校ホームページと学校の掲示版でお知らせいたします。

※現時点での予定となります。

日	曜	3月から4月初旬の予定
3月15	金	第77回卒業証書授与式
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	修了式
20	水	
21	木	～春期休業開始～
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	退職・離任される教職員についての広報（ホームページ及び学校の掲示版）14:00～
26	火	
27	水	
28	木	離任式 11:00開式（体育館にて）
29	金	
30	土	
31	日	
4月1	月	
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	学級発表8:25～ 着任式・始業式
9	火	入学式 10:00開式
10	水	